

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 7 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 1 2 番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。
・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2)	子ども達の熱中症予防と、頻発する災害に避難する市民の命と健康を守る対策は出来ているか
発 言 事 項	
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	「四季ではなく二季になった」と言われるように、気候変動の異常さが地球規模で進んでいます。いよいよ学校も二学期が始まりますが、まだまだ暑さが残りそうです。通学時や校庭、体育館での活動での熱中症対策が急がれます。 また、災害が頻発しています。熊本地震・千葉豪雨災害で被災された皆さまには、お悔やみとお見舞いを申し上げます。 最近は、気温40度を超す地域もある中、避難生活を余儀なくされている方々の状況には心が痛みます。地震も、日本列島北から南まで頻発していますし、琵琶湖西岸断層帯がある高島市でも30年以内にも地震発生が予測されている大変厳しい地域でもあります。 先日は近畿地方整備局と滋賀県知事に対し、安曇川・鴨川水系の事業促進協議会で、「早期の治水対策」を要望して参りましたが、近年の線状降水帯の発生や、局地的短時間の豪雨による水害の発生も頻発しています。 災害後の避難所の整備について、これまでの大地震などの際の「避難生活」が教訓として活かされているのか。直接命を落とされた方より、その後の関連死が多いという情報もあり、そうした事に成らないよう事前の「備え」が大切になります。 しかし、災害が発生すればその自治体ごと「被災者」になります。市長始め、職

員の皆さんも被災者になる可能性は大です。本来は国が主導権を持って、避難生活や生活再建に責任ある対応をすべきだと思いますが、まずはそれまでの一時避難において、市は事前準備・備えをしておかなければならないと考え、教育委員会での対策・対応として質問をさせていただきます。

- 1、子ども達の暑さ対策・熱中症対策は、どのような方策がとられているか。学校までの往復に水筒の水分では足りないため、帰りに冷水を補充して帰れるように、冷水機を設置したという県内の学校もありますし、冷凍庫を設置してアイスネックを首に巻いて帰る学校などの報道もありました。高島市ではどのような対策に取り組まれているか。
- 2、避難場所となる6校の中学校体育館にはエアコンが設置されましたが、地震災害・風水害の災害時に機能するエアコンとなっているか。
- 3、今後、13小学校も避難場所となることも考えられ、エアコン設置が必要と考えるが、計画はあるのか。